

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属・35才

◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
◆元・阪急不動産（株）／阪急阪神不動産（株）勤務公式 HP・SNS は
こちらから！

市職員の衝撃的な勤務実態が明らかとなりました。。。

■勤務中のマンガ閲覧等が常態化！？ サボり放題の状況を外部へ自慢していました…

私は昨秋、ごみ処理施設「西部総合処理センター」で焼却炉の監視・点検等を担う施設操作課の職員について、憂慮すべき情報を入手しました。右の資料に示した通り「勤務中にマンガを閲覧する」「本来の休憩時間を超えて休憩・睡眠を取る」「業務の引継を軽視する」等、自身が多くの非違行為を行っていることを、知人へのLINEに記載しているというものです。こうした状況は、市民の税金から給料が支払われ、高い倫理観を求められる公務員として、あるまじき事態です。本会議における私の質問に対し、市はメッセージの送受信やマンガの閲覧が事実であると認めました。

施設操作課職員が知人に送ったとされるメッセージ（LINE）

7:00起床、大寝坊😴風呂は職場で入るか😓
7:05家を出る。電車通勤やけど遅刻するから車で行くよ🚗
7:25職場到着。特に渋滞もなくスイスイ😊作業着に着替えて執務室へ👉
7:50ラジオ体操と引継ぎ。引継ぎは右から左へ😊今日はなんの漫画読もうかな😁
8:30巡視開始。階段の昇り降り運動運動🏃。
9:30巡視終了。さて何をして時間を潰すか😓。
11:00お昼。風呂に入ってカップラーメン食べて昼でござ寝😴
12:00ペアの〇〇さんは仕事に興味ないのか、監視制御装置に足を乗せて競馬新聞📰ワイは漫画でも読むか😁
15:00そろそろ引継ぎだとみんなソワソワし始める。テーブルでも拭くか😓
15:50引継ぎ。16:25までの謎の待機時間はお喋りか漫画😁
16:25チャイムと同時に疲れ様です👉
16:50帰宅。ジムでも行くかな😁

16:00 出勤
16:00～0:00 美味しんぼ
0:00～5:00 爆睡
5:00～5:20 門開け
5:20～6:00 美味しんぼ
6:00～6:10 清掃
6:10～7:00 お風呂
7:00～8:10 おしゃべり
8:10 退勤

7:45 出勤
7:45～9:00 会話のリハビリ
9:00～9:30 点検
9:30～13:00 気絶
13:00～14:00 美味しんぼ
14:00～14:10 清掃
14:10～15:00 入浴
15:00～16:30 美味しんぼ予定

7:45 出勤
7:45～11:00 コーヒーを飲む、灯油を入れる、なんか運ぶ
11:00～13:00 休憩

■再発防止に向けて、組織として抜本的な取り組みを！

綱紀粛正のため、まずは当該職員に対する厳しい処分が欠かせません。一方、処分を行うだけでは不十分であり、近年、職員の不祥事が多発していることもふまえれば、組織として具体的な再発防止策が求められます。私の指摘を受けて、施設操作課では執務室へのスマートフォンの持込が原則として禁止されましたが、市役所全体でのルール整備は見送られています。今回の事案を当該職員・部署の問題に矮小化することなく、全庁的な対策を検討すべきです。また、担当する業務に余裕があり、時間を持て余していたことも背景にあると考えます。施設操作課は監視・点検業務を1班4人体制で実施していますが、実際には休暇の取得等により3人で業務を行う日もあり、運営を民間委託している東部総合処理センターでは1班3人体制が基本とされています。これらの状況をふまえ、施設操作課の業務・人員体制を抜本的に見直すよう求めました。

市役所による広報は、公正・中立であるべきです！

■市政ニュースに、財政状況を誤認させる記事が掲載されました。

昨年10月25日号の市政ニュースの1面に「財政構造改善の今」と題した記事が掲載されました（※）。2024年度決算では、当初の見通しに比べて赤字額が圧縮されましたが、その主な要因はインフレや賃上げの影響による税金・県税交付金等の増加です。しかし、今回の記事構成や文章からは、財政構造改善の取り組みが想定以上に進捗した結果として、収支が好転したように読み取れます。広報された内容は実態とかけ離れており、財政状況に対する危機感の低下を招くことが懸念されます。

※財政構造改善：赤字が常態化している厳しい財政状況をふまえて、本市が2024年度に開始した取り組み。年間40億円の収支改善を目指し、実施計画において歳入増・歳出減のメニューを示している。

◇市政ニュース 2025年10月25日号



財政状況が「改善」したと大きくアピールしている

■役割・責任の明確化と、基準の策定を！

恣意的な情報発信を防ぎ、公正・中立な広報を実現するには、チェック機能の強化が必要です。制作過程において各担当の職員が果たすべき役割と責任を明確化し、紙面確認時の統一的な基準を策定しなければなりません。私の指摘に対し、市は決裁のあり方を検討するとともに、確認が必要な項目や視点を編集方針に組み込むと答弁しました。制作過程の適正化が実現するよう、今後の動向を注視してまいります。

オンライン手続の利便性を向上するために。

■行政手続のオンライン化は進捗していますが…

近年、本市ではオンライン上で実施できる申請等が増加しています。私も、2020年9月定例会の一般質問で取り上げて以来、行政手続のオンライン化については具体的な提案を重ねてきました。一方で、以下に示した通り、オンライン化した手続の中にも、その効果を十分に発揮できていない事例が多くあります。

- 行事等で公園を使用する際の申請書はメールで送信できるが、許可書を受け取るために来庁・郵送が必要
- 健診の受診票はオンライン上で申し込めるが、原本が届いてから改めて日時の予約や問診票の記入が必要
- 市と教育委員会に対して同時に後援申請を行う際、ほぼ同じ内容の入力が2度必要

■課題の洗い出しと、体系的な改善策が必要です！

これらはデジタル行政推進法に掲げられた3つの基本原則（※）に反している状態と言えます。同様の課題を抱えた手続は他にも多く存在すると考えられるため、それぞれの手続を個別に改善するのではなく、統一的な考え方に基づいて全庁的に見直しを進めるべきです。利便性向上が必要な手続の洗い出しと体系的な取り組みを求めたところ、市は前向きな姿勢を示しました。今後も必要な提言を続けてまいります。

※「デジタルファースト」個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する／「ワンスオンリー」一度提出した情報は、二度提出することを不要とする／「コネクテッド・ワンストップ」民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現する

■PROFILE / 鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在2期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。